

平成30年度 大阪府立大学 授業公開講座(後期) 全15回(予定)

番号	講座名	講師	曜日	コマ	開講日	定員
1	公衆衛生学Ⅱ	星 英之	月	1	10月1日	20
2	中国古典語Ⅱ	大平 桂一	月	2	10月1日	5
3	西洋文化史	村田 京子	月	2	10月1日	20
4	ソーシャルワーク概論	東 優子	月	2	10月1日	10
5	中国の思想	大形 徹	月	4	10月1日	5
6★	ゼミナール 言語と文学 (原文で楽しむフランス文学)	村田 京子	月	4	10月1日	5
7★	ドイツ語中級CⅡ(読解)	兼田 博	火	3	10月2日	5
8	教育社会学	西田 芳正	金	1	9月28日	10
9	人間環境科学入門Ⅰ(心理学概論Ⅰ)	牧岡 省吾	金	1	9月28日	20
10	陸域環境生態学	中山 祐一郎	金	2	9月28日	10
11	地域福祉論B	小野 達也	金	3	9月28日	10

授業時間 1コマ 9:00～10:30 2コマ 10:40～12:10 3コマ 12:55～14:25 4コマ 14:35～16:05

対象 どなたでも(全期間を通じて受講できる方)★は受講条件あり(中面参照)

受講料 1講座 5,000円(受講料については返金いたしかねますのでご了承ください。)

会場 大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス 各教室
※車両での来学はご遠慮いただいておりますので、公共交通機関をご利用ください。

申込方法 お申込は、お一人様1講座のみとさせていただきます。

【1】府大Webサイト「お申込フォーム」
https://www.osakafu-u.ac.jp/opu-contact/entry_evt20180928



【2】「Eメール」又は「官製ハガキ」

①ご希望の講座名(1講座のみ)、②氏名(ふりがな)、③年齢、④郵便番号・住所
⑤電話番号、⑥このチラシの入手先をご記入の上、下記宛先へ。

【E-mail】 jkk30@ao.osakafu-u.ac.jp (半角英数) ※携帯メール不可

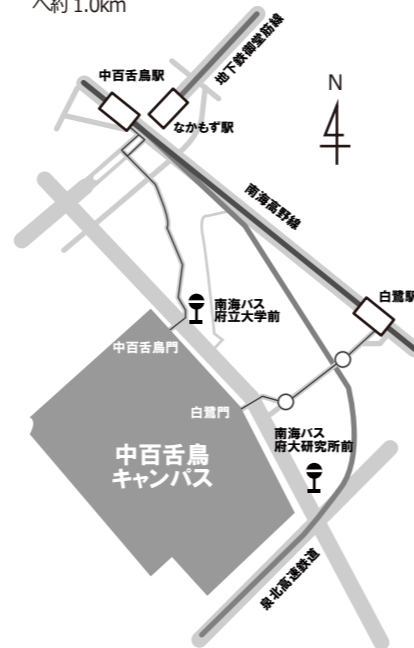
【ハガキ】 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1
大阪府立大学 C5棟 地域連携室「授業公開講座」係

申込先 8月31日(金)必着
※申込者多数の場合は抽選にて受講者を決定します(結果は全員に通知します)。
※抽選結果は、9月14日(金)までに発送予定です。

問合せ先 TEL: 072-254-9942 (地域連携室)

交通アクセス

- 南海高野線「白鷺駅」下車 南西へ約0.5km
- 南海高野線「中百舌鳥駅」下車 南東へ約1.0km
- 地下鉄御堂筋線「なかもず駅」5号出口から南東へ約1.0km



平成30年度
後期
9月～1月

授業公開講座

10回以上受講された方には、
修了証を交付(希望者のみ)



この公開講座は、一部の授業科目を
一般の皆様にも公開し、学生とともに
受講していただく講座です。

※ 講義概要については、中面をご覧ください。

1 公衆衛生学Ⅱ

月¹ 星 英之 准教授

公衆衛生学Ⅱでは、疾病予防に関して、前期に学んだ公衆衛生学Ⅰを基礎にさらに詳細な知識について学びます。その中で、喫煙・飲酒・身体活動などの要因と疾病予防に関する詳細な知識、さらに保健・医療・福祉・介護に関する行政面の考え方を身に付けることを目標にしています。

現代システム科学域

2 中国古典語Ⅱ

月² 大平 桂一 教授

中国の古典を中国語で音読し、味わいます。授業の初期に中国語の発音を音読します。発音は私が作成した教材、中国語未修者も歓迎いたします。読む内容は、詩経、楚辞、漢代の楽府、陶淵明の詩、初唐の詩、盛唐の詩、中唐の詩、晩唐の詩、北宋の詩、南宋の詩、金・元の詩、明の詩、清の詩です。本年度は宋以後の近世の詩も読んでみようと思っています。授業では慣れ親しんだ漢文訓読と現代中国語による直読を併用します。現代中国語による直読は暗唱をより容易にしますし、皆さんを作者の心理により近づけてくれます。どうぞ奮ってご参加ください。

高等教育推進機構

3 西洋文化史

月² 村田 京子 教授

本講座では、西洋の食の歴史、食文化を考察します。とりわけフランスは、洗練された料理やワインで有名で、「美食の国」とされており、フランスが美食大国となる過程に焦点を当ててみたいと思います。中世から現在に至るまでの食文化の歴史を辿りながら、特に、フランス革命が食文化に及ぼした大きな影響（レストランの誕生）に注目し、レストランが市民生活にどのような影響を与え、どのような意味を持ったのかを文学作品などを通して見ていきたいと思ひます。

現代システム科学域

4 ソーシャルワーク概論

月² 東 優子 教授

社会福祉援助技術の入門科目として位置づけられる本講義では、地域でさまざまな相談援助活動に取り組むゲストスピーカーによるリレー・トークに耳を傾け、以下についての理解を深めることを目的とします。①社会福祉士の役割（総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む）と意義について、②精神保健福祉士の役割と意義について、③相談援助の概念と範囲について、④相談援助の理念について、⑤相談援助における権利擁護の意義と範囲について、⑥相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について、⑦総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について。また、他者・相談援助に取り組む基本として、学生が自分自身（および価値観）と向き合うことを目的とするため、基本は講義形式ですが、部分的にグループ・ディスカッションを実施します。

地域保健学域(教育福祉学類)

5 中国の思想

月⁴ 大形 徹 教授

長い歴史をもつ中国では数多くの思想が生みだされ、日本人にも大きな影響を与えています。孔子や孟子の儒家、老子や荘子の道家、墨子の墨家、韓非子の法家などの思想はとても興味深いものです。同時に中国の人々が知らず知らずのうちに形成していった、いわば中国人全体の思想ともいえる死生観や魂魄概念（魂魄はどこにあるのか、魂の語源、肉体をぬけだす魂と髪型との関係、坐忘、体内に入りこむ悪霊、侵入する鬼霊、疾病観と魂、悪霊をはらう方法）などについても考察します。これらもまた日本人の生活や考え方に大きな影響を与えているのです。

高等教育推進機構

6 ゼミナール 言語と文学

月⁴ 村田 京子 教授

アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリの『星の王子さま』をフランス語テキストで読んでいきます。聖書、『資本論』に続いて世界で3番目に読まれている本書は、子ども向きの童話に見えて、大人へのメッセージも込められており、哲学、宗教、思想的にも「神秘」に満ちています。本講座では、原文テキストを読みながら、言葉一つ一つに作者が込めた深い意味を探っていききたいと思います。フランス語テキストは授業中に配布いたします。（注）受講はフランス語初級を履修した（または初級程度の学力を有する）方に限ります。

高等教育推進機構

7 ドイツ語中級CⅡ(読解)

火³ 兼田 博 教授

前期に実施したドイツ語中級CⅠよりさらに高度なドイツ語読解力を養い、最終段階では、文法的知識はすでに頭の中に整理され、辞書のみをたよりにしてドイツ語の原文を把握できるのが目標です。ドイツのオリジナルな題材も使い、多くの学習量をこなしながら、文の分析力も単語力もさらに完成させていきます。平成30年度前期と同じく『自然の見方』(Ansichten der Natur)を続けて読みます。（注）今年度前期の中級CⅠを受講した方のみ、申込可能です。

高等教育推進機構

8 教育社会学

金¹ 西田 芳正 教授

社会の新しいメンバーに必要とされる資質を身につけさせる営みと、その組織的な働きかけである学校教育の姿、それらを経験しつつ大人への途をたどる子ども・若者の姿は、社会の変化とともに大きく変動し、さまざまな問題状況を生み出しています。

授業の前半では、社会化についての基本事項を確認し、学校が登場する以前の伝統社会における社会化（子育て）の仕組みとその特徴を整理します。その知見を参照枠としつつ、現代社会における家族・地域社会における子どもの成長とその問題性を検討し、授業後半では学校教育に視点を移します。その際、近年注目を集めつつある格差・貧困・社会的排除と学校教育の関連に焦点を当て、不利な環境のなかで生育する子ども・若者が経験する学校における排除のメカニズムを検討します。併せて、排除に抗する学校・教師の事例を紹介し、排除型社会としての性格を強めつつある今日の日本において求められる学校教育の在り方について考えていきます。

地域保健学域(教育福祉学類)

9 人間環境科学入門Ⅰ

金¹ 牧岡 省吾 教授

人の行動や行動の背後にある心のはたらきについて概説します。発達、学習、記憶、視覚、聴覚、思考、推論、言語など、心の様々な側面に焦点を当て、これまでに解明された様々な知見を紹介し、心の基本的な仕組みについて理解していきます。学問分野としては主として心理学を扱いますが、必要に応じて動物行動学、分子生物学、神経科学、言語学など、他の分野の知見も取り入れながら解説します。受講にあたって心理学に関する予備知識はとくに必要ありません。授業中に簡単な実験を行う場合もあります。

【教科書】鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃(編)心理学[第5版]東京大学出版会

現代システム科学域

10 陸域環境生態学

金² 中山 祐一郎 准教授

人間の生存にとって不可欠な生態系サービスの理解、健全な生態系の維持と生物多様性の保全を実現するために必要な科学的知識の習得ならびに価値観の養成を目標にしています。生物の生活と環境との関係が理解できるように、生態系の構造と機能、生物の環境形成作用、生物種の環境に対する適応、個体群動態と種間の相互作用、生物群集の構造と多種共存機構について講義します。さらに、生物多様性とその意義、絶滅の要因とプロセスについて説明します。

現代システム科学域

11 地域福祉論B

金³ 小野 達也 教授

地域福祉論Bでは、地域福祉の実践の担い手やその進め方について学びます。地域福祉の推進には、さまざまな主体が関わり、多様な活動・事業が展開されています。地域での動きをどのように整理し、理解し、支援することができるのかを考察します。具体的には、行政や社会福祉協議会、NPO、住民などの実践主体を取り上げていきます。また、地域福祉では、公私関係や組織化活動ということが重要であり、かつ、近年では地域での個人支援も進められています。こうした地域での援助活動についても学ぶほかに、そうした活動を支える仕組みについても検討します。地域での実践に関心のある人の参加をお待ちしています。

地域保健学域(教育福祉学類)